

第5戦 / 第6戦 茂原ツインサーキット東コース

全日本カート選手権参戦報告書

■開催日：7月18～19日 ■天候：晴れ ■路面状況：ドライ ■参加台数：24台

**宮田莉朋、第5戦で2位獲得！
澤田真治はランキング2位で後半戦へ**



澤田真治が劇的な優勝を飾った瑞浪大会から約3週間。舞台を東地域へと移した、オートバックス全日本カート選手権 KF シリーズ第5戦・第6戦が、7月18～19日の2日間、千葉県・茂原ツインサーキット東コースで開催された。

レースウィークの金曜日に、台風11号が西日本を横断したため、房総半島中心に位置する茂原も、その影響を受け金曜日午前中までは時折強い雨が降り路面を濡らす不安定な天候。そのため、ドライコンディションでの練習走行が思うようにこなせないまま、公式スケジュールを迎えることとなった。

前回優勝でランキングトップとなった澤田にとっては、茂原はタイヤテストでの走行経験しかなく、実戦は初となる。

コースは、カートコースには珍しくアップダウンの大きい中高速コースで、積極的に縁石を活用する走行ラインなど、独特なテクニックが要求されるコースでもある。

今大会も東地域シリーズとの併催のため、KFクラスは第5戦の予選ヒートまでを土曜日中に消化するスケジュールで行われた。

Q.P. 澤田真治、チームトップの6位 宮田7位、朝日12位、神は16位から挽回を誓う

土曜日に行われたQP。4人も概ね7周ほどを周回する。その中で、茂原初体験となる澤田が、4周目に記録した自己ベストで総合6位を獲得。トップとのタイム差も、0.2秒ほどと僅差で、予選以降に期待がかかる。7位には宮田が続き、以下朝日ターボが12位、神晴也が16位となる。神でもトップとの差は0.5秒以内と僅差に抑え、予選以降のヒートでの順位挽回が期待された。

第5戦 宮田が今季最高の2位を獲得 神も10位でフィニッシュ!!

第5戦の予選ヒートは土曜日夕方に実施。まずは宮田が4番手につけレー

スを進めるも、澤田、朝日、神らはなかなか上位に進出できない。

11周目、ヘリポートコーナー立ち上がりで他車と接触した澤田が、その際にチェーンが切れてしまい、そのままリタイヤ。一方、トップグループに迫った宮田は、このヒートを4位でフィニッシュ。朝日が7位まで順位を挽回し、神は19位で予選を終えた。

迎えた決勝では、ダミーグリッドからの出走で朝日がエンジンがかからず、スタートできずにこのレースを終える。宮田はオープニングラップこそ7番手と出遅れるが、徐々に順位を挽回していく。後方集団の中でのスタートとなった澤田は、5周目に2コーナーでスピンを喫しリタイヤとなる。

宮田は10周目には2番手まで挽回し、トップを迫る。しかし、この時点でトップとのピハインドは約3秒と大きく、その差を縮めることができない。結局、そのまま単独の2番手で周回を重ねた宮田は、今季自己最高となる2位でフィニッシュ。神も10周目で順位を上げポイントを獲得した。

第6戦 澤田が5位フィニッシュでランク2位に 朝日7位、神8位とトップ10に入賞

続く第6戦予選ヒート。ここでも宮田が好スタートをみせ、序盤に5番手まで進出。また澤田も宮田を追い7番手で序盤のレースを進める。上位陣が徐々にばらけていく中、宮田は4番手まで順位を上げチェッカー。朝日も7位、澤田8位、神11位でそれぞれチェッカーを受けた。

決勝ヒートでは、スタート直後の2コーナーで宮田と朝日が接触、ともに大きく遅れ、宮田はそのままリタイヤとなる。

アクシデントを回避した澤田は、オープニングラップを6番手で終え、そのポジションをキープしながら周回を重ねていく。レース中盤には5番手に上がると、そのままの順位でゴール。5位入賞を飾りランキング2位でシリーズ終盤へ臨むこととなった。オープニングラップのアクシデントで出遅れた朝日は、その後猛追をみせ7位でフィニッシュ。神も8位となりポイントを加算した。

TOYOTA

DUNLOP

MOTUL



Driver's Voice

20 澤田真治

Q.P.:40.608(6位) 第5戦:予選/22位・決勝DNF 第6戦:予選/8位・決勝/5位

TOYOTA Support Driver



今週は、マシントラブルなどもあり、また自分のミスもあって、全体的に流れがうまく回らない週でした。それを考えると、決勝の順位は悪くないかと思いますが、ただシリーズを考えてみると、表彰台には乗りたかったなと言うのが本音なので、少し足りていません。

流れのもって行き方、自分の走りの部分など足りないところがあったと思うので、次回のSUGOまでに自分の走りのパターンを増やし、もっと多面的に走れるドライバーになっていきたいと思います。得意のコースだけではなく、他のコースでも安定して走れる多面性が必要だと感じました。

シリーズ後半に向け、ますますがんばりますので、今後も応援お願いいたします。



1 宮田莉朋

Q.P.:40.632(7位) 第5戦:予選/4位・決勝/2位 第6戦:予選/4位・決勝/DNF

TOYOTA Support Driver



今回のレースは、前回の瑞浪大会より速さと強さを取り戻すことができ、結果は2位でしたが、速さと強さを証明できたので、その点では嬉しかったです。正直、阪口選手が優勝するのも予測していたので、負けという感じではないですが、自分が2位でうれしかったです。

第6戦は、予選でマシンの状態を確認でき、決勝はうまくスタートを決められましたが、スタート直後に後ろからアクシデントに見舞われてしまいました。悔しい部分もありますが、レースにはアクシデントもつきものなので悔いはないです。

リタイアしたときには、頭では次のSUGOのことを考えていました。シリーズ的にも厳しくなりましたが、次のSUGOでは優勝して最終戦ではチャンピオンを狙える位置で戦えるようにがんばります。



21 神 晴也

Q.P.:40.853(16位)

第5戦:予選/19位・決勝/10位
第6戦:予選/11位・決勝/8位



今回は、タイムが周囲のドライバーよりコンマ3秒ほど遅く、調子は良くなかったんですが、バトルで前に行く練習にしようと捉えて臨みました。その点に関しては、レースの結果は良くないですが、次回のSUGOへ向けてのいい練習にはなったと自分では考えています。

SUGOでは、表彰台には上がりポイントをしっかりと稼いで最終戦の鈴鹿へつなげていきたいと思います。応援お願いいたします。

2 朝日ターボ

Q.P.:40.786(12位)

第5戦:予選/7位・決勝/DNS
第6戦:予選/7位・決勝/7位



タイムトライアルからリズムに乗れず、第5戦ではエンジンがかからず、第6戦は後方からのスタートで、少しずつ上がってきて、最後は自分のミスもありましたが、最終的には完走できました。何ともいえませんが、微妙な大会でした。全体の流れ、かみ合いが良くなく、難しい一日でした。

SUGOはアジアパシフィック選手権に出場していたので、そのときにいい練習にもなったと思いますし、悪くはないと思います。それまで時間もあるのでしっかり準備していきたいと思っています。



TOYOTA



DUNLOP

MOTUL

高木政巳代表

レースは「雨のち晴れ」で行く予定だったが、「雨・曇り・雨」と「晴れ」はこなかった。澤田と神は、茂原の走行経験がなく、今までのコースでは事前練習などにも行っていたが、茂原東コースはカート走行日もなかったので練習に行くこともできず、レースウィークの天候も不順だったため、走り込みができなかったため、セッティングもぶっつけ本番となってしまった。QPでは予想したタイムまで伸ばせず、そういった状況でスタートしていくと、何らかのアクシデントに巻きこまれるリスクも高まってしまう。本来ならレースで完走して、いろいろなことを習得していくこともあるの

だが、ヒートを落としてしまう場面が多くあり、マシンを煮詰めることができなかったことが、決勝の結果につながってしまった。

ただレースは全員が同じ条件なので、決して言い訳になるものではない。宮田、朝日の二人もも波に乗ることができず、アクシデントにも遭う悪い流れとなってしまった。宮田も最後は巻き込まれたクラッシュとなってしまった。

非常に流れが悪い大会だったが、それもみんな自分たちに原因があるので、これからしっかりと分析、勉強し、チームとしてもがんばっていきたい。

RESULTS

第5戦

Pos	No	Driver	Team	Frame	Engine	Tire	Q.F.	Q.H.
1	3	阪口晴南	DRAGO CORSE	MADCROC	TM	DL	40.469	2 1
2	1	宮田莉朋	MASUDA RACING PROJECT	EXPRIT	TM	DL	40.632	7 4
3	12	山川仁也	スクーデリア LCT	TONYKART	TM	DL	40.701	10 6
4	16	黒岩靖広	MAD-CROC Karting	MADCROC	TM	DL	40.505	3 2
5	7	大湯都史樹	TONYKART RACING TEAM JAPAN	TONYKART	VORTEX	BS	40.642	8 3
6	27	西村拓真	FA-KART RACING TEAM	FA-KART	VORTEX	BS	40.860	17 12
7	24	高橋悠之	TONYKART RACING TEAM JAPAN	TONYKART	VORTEX	BS	50.548	4 11
8	5	佐々木大樹	INTREPID JAPAN CORSE	INTREPID	TM	BS	40.384	5 5
9	25	前田 樹	KOSMIC RACING TEAM JAPAN	KOSMIC	VORTEX	DL	40.814	14 23
10	21	神 晴也	EXPRIT TAKAGI RACING	EXPRIT	TM	DL	40.853	16 19
22	20	澤田真治	EXPRIT TAKAGI RACING	EXPRIT	TM	DL	40.608	6 22
DNS	2	朝日ターボ	MASUDA RACING PROJECT	EXPRIT	TM	DL	40.786	12 7

第6戦

Pos	No	Driver	Team	Frame	Engine	Tire	Q.F.	Q.H.
1	3	阪口晴南	DRAGO CORSE	MADCROC	TM	DL	40.469	2 2
2	24	高橋悠之	TONYKART RACING TEAM JAPAN	TONYKART	VORTEX	BS	50.548	4 22
3	5	佐々木大樹	INTREPID JAPAN CORSE	INTREPID	TM	BS	40.384	5 1
4	7	大湯都史樹	TONYKART RACING TEAM JAPAN	TONYKART	VORTEX	BS	40.642	8 6
5	20	澤田真治	EXPRIT TAKAGI RACING	EXPRIT	TM	DL	40.608	6 8
6	25	前田 樹	KOSMIC RACING TEAM JAPAN	KOSMIC	VORTEX	DL	40.814	14 12
7	2	朝日ターボ	MASUDA RACING PROJECT	EXPRIT	TM	DL	40.786	12 7
8	21	神 晴也	EXPRIT TAKAGI RACING	EXPRIT	TM	DL	40.853	16 11
9	13	荒川 麟	DRAGO CORSE	MADCROC	TM	DL	NoTime	24 13
10	46	井上広海	Team MOTOYAMA	CRG	TM	DL	41.121	19 14
DNF	1	宮田莉朋	MASUDA RACING PROJECT	EXPRIT	TM	DL	40.632	7 4

EXPRIT TAKAGI RACING



代表：高木政巳

監督：高木虎之介

ドライバー：#20 澤田真治 #21 神晴也

メカニック：岡本康裕（澤田真治担当） 高井美豪（神晴也担当）

使用マテリアル

CHASSIS：EXPRIT

ENGINE：TM

TYRE：DUNLOP

※なお今季は昨年から続いている MASUDA RACING PROJECT との連携を強化し、ドライバー宮田莉朋を派遣するとともに同チームへ EXPRIT シャシーを供給しています。

ポイントランキング

Pos.	Driver	Team	累計有効
1	阪口晴南	DRAGO CORSE	153 153
2	澤田真治	EXPRIT TAKAGI RACING	132 132
3	朝日ターボ	MASUDA RACING PROJECT	131 131
4	宮田莉朋	MASUDA RACING PROJECT	119 119
5	山川仁也	スクーデリア LCT	110 110
6	大湯都史樹	TONYKART RACING TEAM JAPAN	95 95
7	黒岩靖広	MAD-CROC Karting	93 93
8	三村壮太郎	MAD-CROC Karting	84 84
9	佐々木大樹	INTREPID JAPAN CORSE	83 83
10	高橋悠之	TONYKART RACING TEAM JAPAN	58 58
11	神 晴也	EXPRIT TAKAGI RACING	57 57



TAKAGI PLANNING

元 F1 & IRL ドライバーの高木虎之介が代表を務め、カートショップならびにレーシングカートチームの運営、若手ドライバーの育成、ジュニアカートスクールなど普及活動も展開している。
〒422-8046 静岡県静岡市駿河中島 902

MASUDA RACING PROJECT



代表：増田二三四

監督：高木虎之介

ドライバー：#1 宮田莉朋

#2 朝日ターボ

使用マテリアル

CHASSIS：EXPRIT

ENGINE：TM

TYRE：DUNLOP

TOYOTA

DUNLOP

MOTUL

